

問 南小学校及び見沼小学校の水泳授業を委託する理由は。

答 プール施設の老朽化により、再整備を含むプールに係る維持管理費用と民間委託した場合の費用について、比較検証した結果、民間委託のほうが安価であることや、天候による制約を受けずに計画的な実施ができる。また、先行して民間委託している他市町における評価も高いことから導入するものである。

問 民間施設への移動手段は。

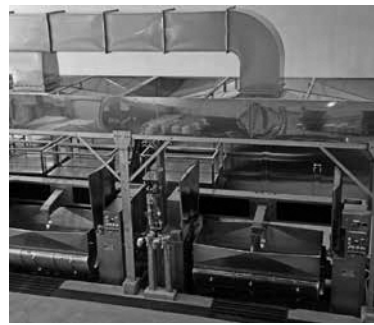
答 南小学校については民間施設が用意するバスを、見沼小学校についてはスクールバスの活用を予定している。

○学校給食センター設備改修事業

問 学校給食センター管理運営費の設備改修工事請負費について、今回の改修工事のほかに今後、予定されている改修はあるのか。

答 令和5年度に予定している改修工事は全自動煮炊釜分解整備工事、連続式加熱水蒸気焼物機更新工事、コンテナ消毒保管室改修工事、自動フライヤー更新工事、スチームコンベクション更新工事である。

また、今後予定している改修工事は、昇降式消毒保管機、調理室空調設備、調理室自動消火設備、ボイラーなどで計画的に進めていく。



全自動煮炊釜（学校給食センター）

○踏切拡幅事業

問 踏切拡幅事業について、拡幅することになった経緯は。

答 踏切が忍小学校の通学路であること、地元自治会からの安全対策の要望があったことから実施するものである。

○観光関連施設運営事業

問 行田おもてなし観光局に委託する観光関連施設管理業務委託料1230万1千円の内訳は。

答 JR行田駅前観光案内所に人件費等として約490万6千円、忍城バスターミナル観光案内所の人件費等として約470万5千円、さきたまテラスゾーンの管理に関する

人件費及び交通誘導警備員費等として約269万円である。

**特別会計
特別会計合計額は
165億円余**

○令和5年度の各種特別会計予算（全て原案可決）

国民健康保険事業費特別会計など4特別会計の令和5年度当初予算は合計で165億68万6千円です。

また、公営企業会計当初予算は水道事業会計が34億4087万2千円、公共下水道事業会計が32億9103万4千円です。

●特別会計予算及び公営企業会計予算（単位：千円）

会計名		予算額	対前年増減額	増減率%
特別会計	国民健康保険	8,255,773	△78,672	△0.9
	交通災害共済	37,552	8,493	29.2
	介護保険	7,013,220	72,331	1.0
	後期高齢者医療	1,194,141	77,265	6.9
	合計	16,500,686	79,417	0.5
公営企業会計	水道	3,440,872	234,830	7.3
	公共下水道	3,291,034	218,205	7.1
	合計	6,731,906	453,035	7.2

**例
法令改正に伴う
条例の改正等**

○行田市公共施設整備基金条例（原案可決）

学校や公営住宅などの公共施設は、建築後30年以上が経過したものも多く、老朽化の進行に伴い、今後迎える公共施設の更新等に係る財源の平準化を図ることを目的とし、施設の整備に要する経費の財源を積み立てるため、新たに基金条例を制定するものです。

○行田市情報公開・個人情報保護運営審議会条例（原案可決）

法令の改正に伴い、審議会への諮問事項について、個人情報情報の適正な取扱いを確保するため専門的な意見を聞くことが、特に必要である場合に限定されたことから、審議会の常設の機関から、必要に応じて設置する非常設機関とする規定のほか、所要の整備をするため、条例の全部を改正しようとするものです。

○行田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

法令の改正に伴い、国民健康保険税の賦課限度額の引上げに関する規定のほか、所要の整備をするため、条例の一部を改正しようとするものです。

す。

【主な質疑】
問 賦課限度額102万円に達する所得の例は。

答 医療分の賦課限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金分の賦課限度額を19万円から20万円に引き上げるもので、今回変更のない介護分17万円を加えた賦課限度額の合計は、99万円から102万円となる。所得の例は、単身世帯の場合は1043万円、夫婦共働き子ども2人の4人世帯の場合は1023万5千円である。

問 国民健康保険加入世帯のうち何世帯が賦課限度額102万円に該当するのか。

答 令和2年度当初賦課時点で、加入世帯1万2543世帯のうち35世帯である。

**補正予算
補正総額
14億3620万円**

○令和4年度行田市一般会計補正予算（原案可決）

12月補正後の諸情勢の変化に伴う各種経費の追加措置や、国の補正予算に伴う新たな予算措置のほか、執行状況に応じた減額措置を行うこととする。